

事業所名

こども支援センターえがお

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和7年

3月

20日

法人（事業所）理念		園訓「愛なき人生は暗黒であり汗なき社会は堕落である」は、自らも全盲という障害を持ちながら、広く全国の障害者のために光道園を創設した初代園長「中道益平」が、生涯を通して貫き通した精神である。私たち光道園職員は、この言葉を「光道園精神」として、いついかなる時も、社会情勢が如何に変わろうとも、継承し実践してゆく。									
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・将来の自立を目標に、お子さんの特性に合わせた日常生活における基本動作の習得や集団生活への適応訓練を個別療育や集団療育を通して支援する。 ・楽しい体験や成功体験を積み重ね、称賛や達成感、満足感を味わいながら、できることが増えるよう、自尊心を育ていけるように支援する。 ・保護者の方の子育ての悩みに応じたり、保護者がお子さんに向けた子育てのヒントを得、笑顔で生活できるように支援する。 									
営業時間		9時	30分	から	13時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	*個別にご相談ください
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食事・トイレ・着替え・歯磨きなどの基本的な生活習慣の獲得を支援します。視覚的な手順書や実物を活用し、一人ひとりの発達に合わせた方法で取り組めるようにします。 ・スケジュールを実物・写真・イラスト・文字等で提示し、活動の流れをわかりやすくします。 ・個別療育で身につけたことを、集団の活動の中で繰り返し実践する機会を設け、生活習慣の定着を促します。 ・常勤の看護師が在籍し、必要な医療ケアや健康管理に対応します。保護者や医療機関と連携し、安全に療育を受けられるよう配慮しています。 									
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大運動（バランスをとる、歩く、ジャンプする等）の動きを活動の中に取り入れ、身体の動かし方を学べるよう支援します。 ・微細運動（はさみ・クレヨン・ボタンの操作等）を個別や集団の活動の中に取り入れ、手指の巧緻性を支援します。 ・粘土・スライム・泡・絵の具などさまざまな素材を用いた遊びを取り入れ、感覚の発達を促します。 ・感覚と運動を組み合わせた活動（異なる素材の上を歩く感覚サーキットなど）を通じて、楽しく体を動かせる環境を整えます。 									
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚・聴覚・触覚などの感覚を活用し、子どもが適切に情報を取得できるよう支援します。見通しを持って行動できるよう、一人ひとりに合ったスケジュール（実物・写真・イラスト・文字等）を作成し提示します。 ・形・色・大小・数・順番などの概念の形成を支援します。活動の中で日付や人数の確認を取り入れ、理解を深められるよう促します。 ・気持ちを表すカードや表情のイラストを活用し、子どもが自分の感情を理解し、適切に表現できるよう支援します。 									
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の理解を深め、わかることを増やしていけるよう支援します。身近なことばや指示の理解を促し、視覚支援や具体物を活用しながら、状況に応じたことばの理解ができるよう支援します。 ・自分の気持ちや考えを伝えられるよう支援します。ジェスチャーやコミュニケーションツールを活用し、一人ひとりに合った方法で表現できる力を伸ばしていきます。 ・人とのやりとりが楽しいと感じられるよう、ごっこ遊びやふれあい遊びなどを活動に取り入れます。相手の話を聞く、順番を待つ、自分の気持ちを伝える経験を重ね、自然なやりとりができるよう支援します。 									
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・人とかかわることに安心感を持てるよう支援します。大人や友だちとのやりとりを通して、相手の存在を意識しながら関わる経験を積み重ねます。 ・集団の中で、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちに気づいたりする経験を重ねられるよう支援します。視覚的な支援を活用しながら、順番を待つ、ルールを守るなどの力を伸ばしていきます。 ・遊びや活動を通して、友だちと一緒に過ごすことを楽しいと感じられるよう支援します。役割のある遊びや協力が必要な活動を取り入れ、自然なやりとりの中で社会性を育てるようにします。 									
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に保護者面談を実施し、保護者の方が子育ての不安や悩みを抱え込まず、えがおで子育てができるようにしています（希望に応じ、対面以外に電話、自宅訪問等にも対応します） ・子育てに対するアドバイス（かわり方、生活環境の調整や構造化等）を実施し、家庭でもできることを増やせられるようにしています。 ・子どもが安心して過ごせる環境づくりを保護者ととも考えています。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージの変化に応じて移行支援会議を開催し、子どもが安心して新しい環境へ移行できるようにしています。 ・移行支援会議時には「子育てファイルふくいっ子」を活用し、途切れのない支援が継続できるようにしています。 ・移行後も必要に応じてフォローに入り、地域での生活をサポートしています。 			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員、医療機関、通園保育所などの情報共有や連携を行い、子どもの成長を支える環境を作ります。 ・乳幼児健診後のフォロー教室や子育て研修に参加し、地域の支援体制強化に努めます。 ・児童発達支援センターとして、地域の支援体制づくりに貢献できるよう努めます。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・支援の質を高めるため、法人内外の研修に参加し、専門的な知識や技術の習得に努めています。 ・事例検討やGSV、情報共有を行いながら、支援の充実を図っています。 ・日々の振り返りを重視し、支援内容の見直しや改善を行い、より良い支援を提供できるよう努めています。 			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断 ・身体測定、防災訓練（毎月） ・法人内文化祭、外部団体への作品展示 ・放課後等デイサービスにこにこの交流活動 ・季節に合わせた活動 									